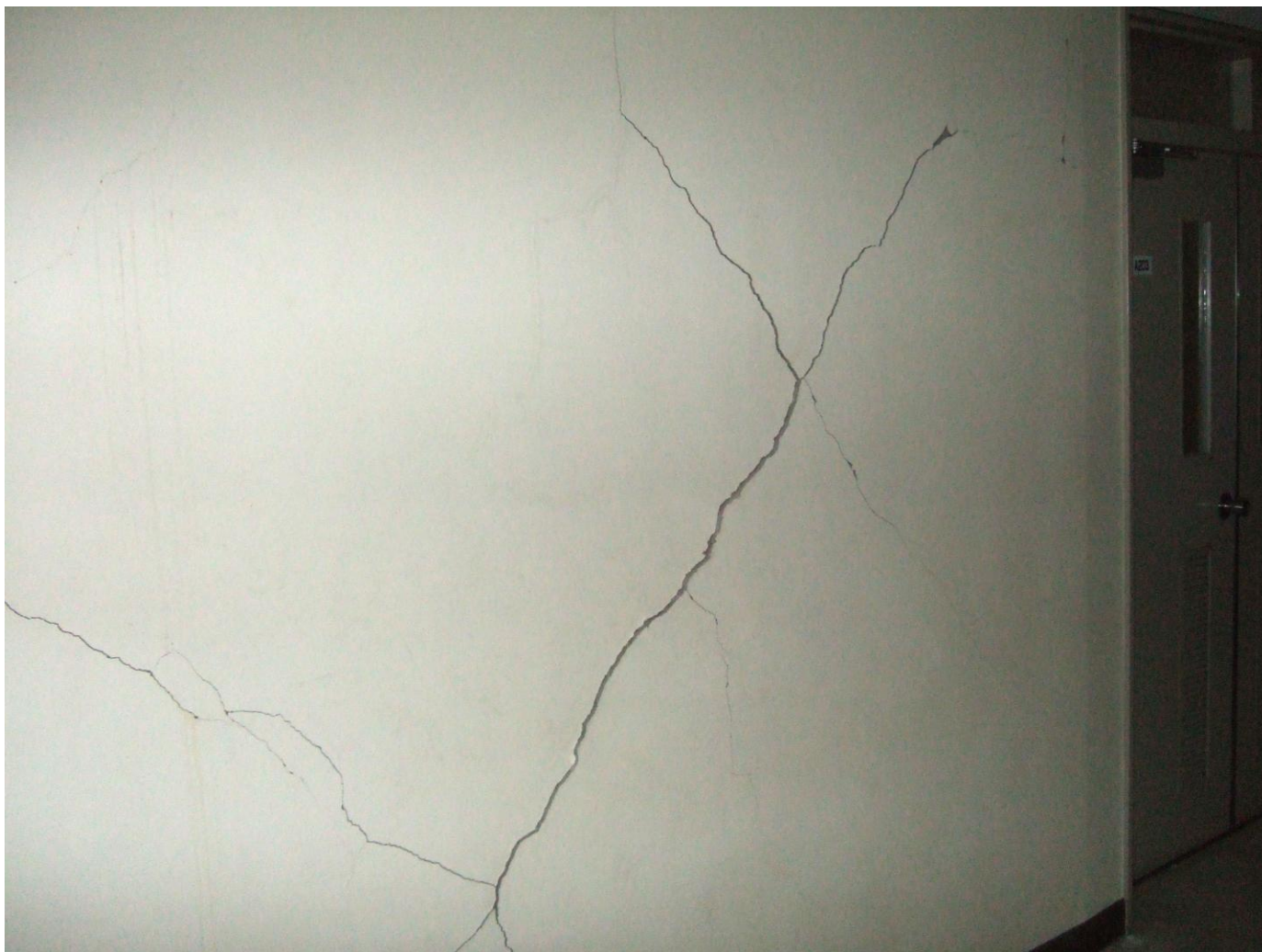


# 丸山研究室（2階中央北側）

丸山研究室では、丸山教授室やA室入り口付近の廊下で斜め45°に交差した大きな亀裂が壁全体に進展したほか、A室内の入り口付近の天井の梁に大きな亀裂が貫通するなど、いたるところで危険な状態となっています。A室ではすべての書庫、物品棚を耐震固定していたのでそれらの転倒は免れましたが、多くの書籍、書類が落下し散乱しました。また、幾つかの装置や作業台が転倒し被害を受けました。例えばB室（E棟）では、クリープ試験機7台中4台がなぎ倒されるように転倒した上、そのうち1台が管状炉に激突しこれを破損しました。

# A室廊下の壁に進展した大きな亀裂



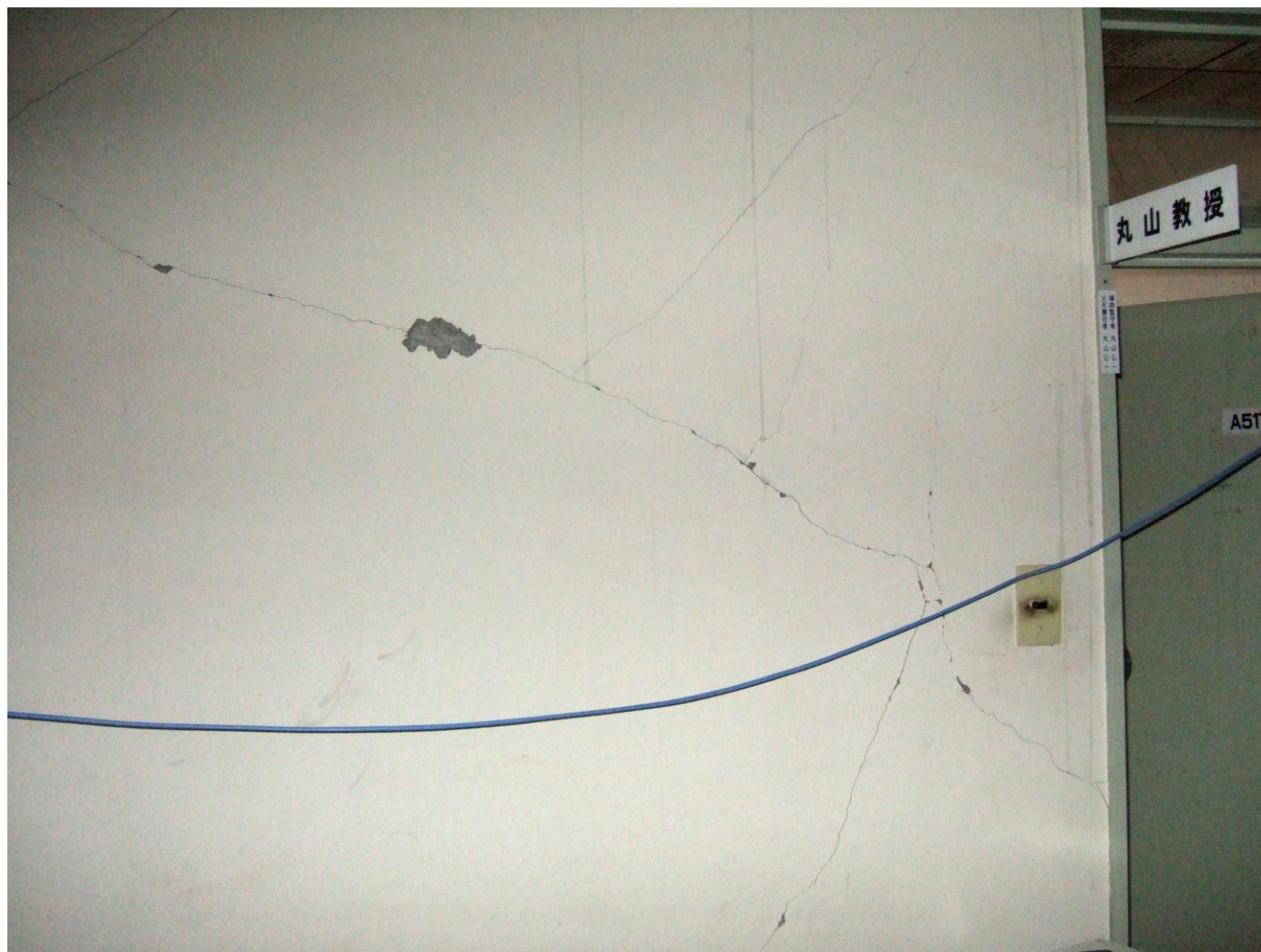
# A室入り口付近の梁を貫通する亀裂



# A室入口脇の壁



# 丸山教授室(5階中央南側)入口付近 の廊下



# 落下し散乱した書籍・書類



# 作業椅子の背もたれで奇跡的に落下を免れた ビッカース硬度計と落下し破損した平行研磨器



# 転倒したクレープ試験機 (E棟B室)

